



★輸液について★

輸液には、栄養を補うものや水・電解質を補う輸液などがあります。今回は、主に水・電解質を補う輸液についてまとめてみました

電解質輸液は NaCl 濃度により 2 つに分けられます

①等張電解質輸液

電解質濃度 = 細胞外液の電解質濃度

⇒細胞内には移行できず

細胞外液に分布する



②低張電解質輸液

電解質濃度 < 細胞外液の電解質濃度

⇒細胞内にも移行できる

※内外の分布割合は混合割合により異なる



水分補給液

(薬品例)5%ブドウ糖液

ブドウ糖は体内で代謝をされると

水と二酸化炭素になる

⇒水は細胞内にも移行できる



体のどこに水分を補いたいのかによって選ぶ輸液が異なります。

詳しい組成は院内薬品集をご参考下さい。

参考文献:やさしく学ぶ輸液・栄養の第一歩(第5版)

輸液・栄養読本【水・電解質輸液編】他



当院では1番 処方が多いよ

等張電解質輸液

生理食塩液 [®] 	ソルラクト [®] 	ポタコール [®]
・組成はNaとClのみ ・0kcal/袋	・生食+体内の組成に近づける為K、Ca、乳酸が追加 ・0kcal/袋	・ソルラクト+糖 ・100kcal/袋

低張電解質輸液

YDソリタT-1 [®] 	KN3号 [®] 	ソルデム3A [®] 	トリフリード [®]
・生食:5%ブドウ糖液 = 1:1の為電解質補給効果が高い ・Kフリー ・52kcal/袋	・生食:5%ブドウ糖液 = 1:3の為水分補給効果が高い ・Kが20mEq/L 含まれる ・54kcal/袋	・KNより塩が少なく糖が多い ・35kcal/袋	・KN+多くの糖 ・浸透圧比≒2.6と高い為皮下投与不可 ・210kcal/袋

【おまけ】100kcalってどれ位?
例えばクロワッサン(約50g)だと半分位です

